

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名 地域高規格道路 一般国道1号 栗東水口道路 I <small>りつとうみなくち こなん いしべ</small>	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 近畿地方整備局	
起終点 自：滋賀県湖南市石部 至：滋賀県栗東市上砥山 <small>りつとう かみとやま</small>	延長 L=4.3km		
事業概要 一般国道1号は東京都中央区を起点とし、滋賀県を経て大阪府大阪市に至る延長約570kmの幹線道路である。栗東水口道路 I は、交通混雑を緩和、交通安全の確保等を図ると共に、物流の効率化を支援することを目的に計画された道路である。			
H元年度事業化	H元年度都市計画決定	H7年度用地着手	H13年度工事着手
全体事業費 約430億円		事業進捗率 約44%	
計画交通量 21,800～39,500台/日		供用済延長 0.0km	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 3.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 189/415億円 (事業費) 173/398億円 (維持管理費) 17/17億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 619/619億円 (走行時間短縮便益) 612/612億円 (走行経費減少便益) 2.5/2.5億円 (交通事故減少便益) 4.6/4.6億円
基準年 平成20年度			
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=3.6(交通量+10%) B/C=2.9(交通量-10%) 事業費変動：B/C=3.0(事業費+10%) B/C=3.6(事業費-10%)			
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保(栗東水口道路 I の並行区間においては、年間渋滞損失時間を約6割削減) ・国土・地域ネットワークの構築(中心都市へのアクセス向上) 他10項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 ・平成20年8月、大津湖南地域幹線道路整備促進期成同盟会(野洲市他関係6市の首長で構成)より早期整備の要望を受けている。 ・平成20年8月、地域高規格道路甲賀湖南道路整備促進期成同盟会(甲賀市他関係3市の首長で構成)より早期整備の要望を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・沿線周辺では、工業団地の立地や住宅開発が進むとともに人口の増加が著しい。 ・甲賀市における製造品出荷額の推移は、滋賀県、近畿全域を大きく上回っている。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在までに、用地取得は約79%完了、引き続き用地買収及び工事進捗を図る。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き事業を推進し、平成20年代前半の暫定2車線供用を目指す。			
施設の構造や工法の変更等 橋梁のライフサイクルコストの検討、新技術・新工法の活用等によりコスト縮減を図っている。			
対応方針 事業継続			
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

再評価結果(平成21年度事業継続箇所)

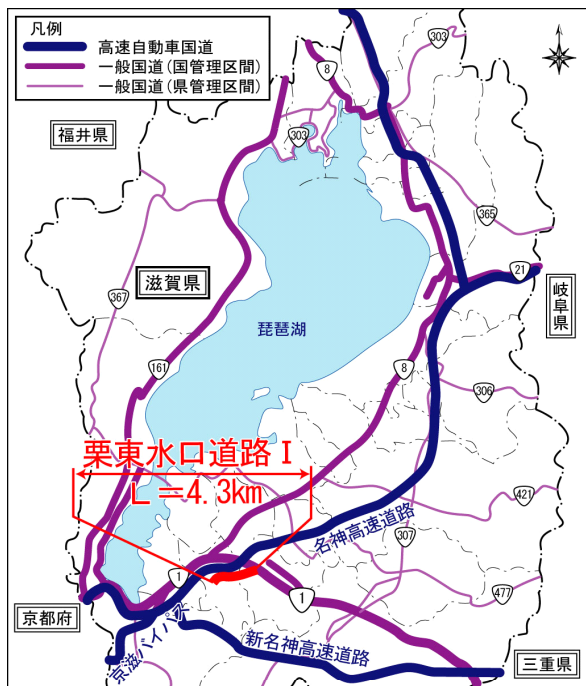
担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	地域高規格道路 一般国道1号 栗東水口道路 I	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：滋賀県湖南市石部 至：滋賀県栗東市上砥山	延長	L=4.3km		

事業概要図

【位置図】



【概要図】

